

報告事項カ

企画展「シーラカンス -その進化と大陸移動- 」の開催について

企画展「シーラカンス -その進化と大陸移動- 」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成22年6月29日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

企画展「シーラカンス その進化と大陸移動」の開催について

1	展覧会名	企画展「シーラカンス その進化と大陸移動」
2	会 期	平成22年7月17日(土)～8月29日(日)44日間(休館日なし) 午前9時～午後5時(土、日、祝日は午後7時まで)
3	会 場	鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
4	主 催	鳥取県立博物館、財団法人福岡文化財団、(財)自治総合センター
5	協 力	北九州市立自然史・歴史博物館、アクアマリンふくしま、日本大学生物資源科学部、東京工業大学
6	協 賛	日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、三和商事株式会社、株式会社吉備総合電設
7	入 場 料	一般700円(団体・前売500円) / 小・中学生、高校生、学生は「無料」 入場料免除：学校教育活動での引率者、障がいのある方・要介護者等及びその介護者、70歳以上の方
8	概 要	史上最大のシーラカンス復元骨格をはじめ、約1,000点の魚類化石をとおして、シーラカンス類の進化やその背景となる大陸移動について解説する他、近年撮影に成功した現生シーラカンスの生態映像など最先端の研究成果も紹介する。また鳥取県に関連したコーナーとして、大陸移動に関わる地質遺産である「山陰海岸ジオパーク」を紹介する。

1 展示構成と展示資料

第一章 大陸移動とは？

【主な展示物】大陸移動の証拠となる実物化石〔マウソニア(シーラカンス類)、ブラジルおよびアフリカ産魚類、メソサウルス(は虫類)、グロッソプテリス(植物)、他〕

第二章 大陸移動のもう一人の証人シーラカンス

【主な展示物】古生代・中生代の多様なシーラカンス類〔最も原始的なシーラカンス：ミグアシャイア実物化石、史上最大のシーラカンス：マウソニア・ラボカティ復元骨格(全長3.8m)、他〕

第三章 大西洋ができ始めたころの魚たち

【主な展示物】多種多様なブラジル産魚類化石、魚類化石の床と壁、白亜紀を代表する魚食性恐竜スピノサウルス(復元ロボット)と翼竜アンハングエラ(復元骨格)、他

第四章 シーラカンス・プロジェクト

【主な展示物】現生シーラカンス生態映像およびCTスキャン映像、“来日第2号”シーラカンスの精密レプリカ、生きた古代魚(ハイギョ等)の水槽展示、他

体験コーナー

【主な展示物】シーラカンスのウロコ(タッチング標本)、化石パズル、図書コーナー、「山陰海岸ジオパーク」紹介パネル、他

2 関連事業

日時	名称	講師	場所	備考
7月17日(土) 14:00 ～15:30	講演会 「シーラカンスと ブラジル魚類化石」	パウロ・ブリート氏 (リオデジャネイ ロ州立大学教授)	鳥取県立博物館 講堂	無料
7月18日(日) 13:30 ～14:30	展示解説 「大陸移動とシー ラカンス類の進化」	藪本美孝氏 (北九州市立自然 史・歴史博物館)	鳥取県立博物館 第1・第2特別 展示室	要入場 料